



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社グローバルウェイ  
 コード番号 3936 URL <http://www.globalway.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 各務 正人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 山本 慶一

TEL 03(5441)7193

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	544	5.9	89		87		88	
29年3月期第2四半期	513		2		5		9	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	75.97	
29年3月期第2四半期	8.03	

(注) 当社は、平成28年3月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、平成29年3月期第2四半期対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
30年3月期第2四半期	974		480		49.1
29年3月期	1,022		565		55.3

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 478百万円 29年3月期 565百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,300	27.2	1		1		0		0.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	1,159,270 株	29年3月期	1,156,350 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	74 株	29年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	1,158,294 株	29年3月期2Q	1,140,450 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明動画の入手方法)

決算説明動画は平成29年11月30日(木)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢に改善傾向が見られ、緩やかな回復基調が続いております。一方で、米国の新政権による政策動向、地政学的リスクの高まり等不安定な海外情勢の影響が懸念され、日本経済は先行き不透明な状況で推移しました。

当社のソーシャル・ウェブメディア事業が属するインターネット関連市場を取り巻く環境につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、インターネット利用人口の拡大が続いております。これに伴い、インターネットを利用した企業の情報収集ニーズが活発化しており、当社サービスに対する需要はますます高まっております。

また、当社のビジネス・ウェブアプリケーション事業が属するクラウド市場を取り巻く環境につきましては、企業が進める働き方改革や、オムニチャネル等のデジタル変革に伴うIT投資によって、引き続き、当社サービスに対する需要は高まっております。

このような環境の中、ソーシャル・ウェブメディア事業では、株式会社ディスコより事業譲受したキャリア転職をキャリアコネ転職に統合し4月1日よりサービスを開始いたしました。併せて、売上高の伸長を目的とした熊本営業所の開設及び増員など組織体制強化のため先行投資を行っております。ビジネス・ウェブアプリケーション事業では、IoT(注1)に係る新規取引先からの引き合いもあり前年同四半期比で売上高が増加しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は544,037千円(前年同四半期比5.9%増)、営業損失は89,287千円、経常損失は87,676千円、四半期純損失は88,003千円となりました。

当社のセグメントの業績は次のとおりであります。

## ① ソーシャル・ウェブメディア事業

ソーシャル・ウェブメディア事業は、インターネット上にて運営している働く人のための情報プラットフォーム「キャリアコネ」は、当第2四半期累計期間の訪問者数は30,194千人(前年同期間は、23,020千人)となりました。訪問者数と売上高が強く相関する収益構造である「キャリアコネ」へのユーザーを誘導するため、転職希望者向けに企業情報をまとめた特化型キュレーションメディア「TENSHOCK(テンショック)」や働く人のキャリア形成のための「キャリアコネニュース」を展開し訪問者数増加の施策を実行してまいりました。また、4月1日に事業を譲り受けた国内求職者向け転職Webサービス(キャリア転職)と当社既存サービス(キャリアコネ転職)との統合が完了し「新キャリアコネ転職」としてサービスを開始いたしました。契約企業数は約1,100社から3,000社超に増加し、さらに求人掲載企業の獲得等を目的とし、熊本県に営業拠点を4月に開設し運営を開始しております。人材紹介を行うリクルーティングサービスは、サービス品質の向上を目的としたキャリア・コンサルタント教育に引き続き注力しております。C2C向けサービス(注2)及びシェアリング・エコノミー型サービス(注3)を展開する「TimeTicket(タイムチケット)」においては、ユーザー数増加及びサービス利用の活性化に重点を置いており、広告宣伝費の投資及びシステム改修を行っております。

この結果、当第2四半期累計期間におけるソーシャル・ウェブメディア事業の売上高は240,599千円(前年同四半期比6.1%減)、セグメント損失は59,839千円となりました。

## ② ビジネス・ウェブアプリケーション事業

ビジネス・ウェブアプリケーション事業は、eコマース/CRM(注4)、販売管理、IoT/BigDataを今年度の重点領域に定め技術力を蓄積するとともに、Salesforce.com社、Talend社、Domo社及びAmazon社との協業を進めております。これらパートナー製品の再販及び導入支援サービスに加えて、Voxerをはじめとしたクラウド型自社製品の開発と販売にも注力しております。第2四半期累計期間においては、上記重点領域での新規契約が順調に推移しました。

この結果、当第2四半期累計期間におけるビジネス・ウェブアプリケーション事業の売上高は303,438千円(前年同四半期比18.0%増)、セグメント利益は49,357千円(同153.9%増)となりました。

(注1) IoTとは、Internet of Thingsの略称。全ての「モノ」がインターネットを介して繋がり、モノ同士が人の操作・入力を介さず自律的に最適な制御が行われることを意味する。

(注2) C2C向けサービスとは、商取引の形態のうち主に一般消費者どうしの売買・取引を扱う形態のサービス。

(注3) シェアリング・エコノミー型サービスとは、個人間で、個人が保有する遊休資産(スキルのような無形のものも含む)の貸出しを仲介するサービス。

(注4) eコマース/CRMとは、企業のマーケティング活動及び商談管理を効率化するクラウド型サービス。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産の合計は、前事業年度末に比べ48,232千円減少し、974,755千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少98,129千円、仕掛品の増加21,944千円、無形固定資産の増加4,975千円によるものであります。

負債の合計は、前事業年度末に比べ36,354千円増加し、493,903千円となりました。これは主に、前受金の増加54,092千円、買掛金の増加14,417千円、未払費用の減少22,818千円、長期借入金の減少30,006千円によるものであります。

純資産の合計は、前事業年度末に比べ84,586千円減少し、480,852千円となりました。これは四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少88,003千円、新株予約権の増加1,915千円によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度と比べて98,129千円減少し、532,742千円となりました。

第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、55,987千円の減少となりました。これは、主に税引前四半期純損失87,720千円、仕入債務の増加14,417千円によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、13,610千円の減少となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出10,000千円、有形固定資産の取得による支出3,758千円によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、26,543千円の減少となりました。これは、長期借入金の返済による支出30,006千円、有償ストック・オプションの発行による収入1,960千円、株式の発行による収入1,847千円によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	630,872	532,742
売掛金	175,031	173,938
仕掛品	14,105	36,049
その他	35,845	59,487
流動資産合計	855,854	802,217
固定資産		
有形固定資産	30,603	31,593
無形固定資産	35,596	40,571
投資その他の資産	100,933	100,373
固定資産合計	167,133	172,538
資産合計	1,022,987	974,755
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	30,263	44,680
1年内返済予定の長期借入金	60,012	60,012
未払費用	82,329	59,511
未払法人税等	1,249	2,470
前受金	21,685	75,777
賞与引当金	13,651	19,279
返金引当金	382	224
その他	41,791	55,770
流動負債合計	251,365	317,726
固定負債		
長期借入金	204,981	174,975
繰延税金負債	1,202	1,202
固定負債合計	206,183	176,177
負債合計	457,549	493,903
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	211,564	212,488
資本剰余金	163,404	164,328
利益剰余金	190,470	102,466
自己株式	-	△345
株主資本合計	565,438	478,937
新株予約権	-	1,915
純資産合計	565,438	480,852
負債純資産合計	1,022,987	974,755

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	513,518	544,037
売上原価	260,960	320,732
売上総利益	252,557	223,304
販売費及び一般管理費	250,212	312,592
営業利益又は営業損失(△)	2,345	△89,287
営業外収益		
受取利息	93	105
為替差益	-	1,988
助成金収入	500	-
雑収入	163	58
営業外収益合計	757	2,152
営業外費用		
支払利息	109	541
為替差損	8,422	-
雑損失	3	-
営業外費用合計	8,535	541
経常損失(△)	△5,433	△87,676
特別利益		
新株予約権戻入益	-	45
特別利益合計	-	45
特別損失		
固定資産除却損	-	89
特別損失合計	-	89
税引前四半期純損失(△)	△5,433	△87,720
法人税、住民税及び事業税	279	417
法人税等調整額	3,446	△135
法人税等合計	3,725	282
四半期純損失(△)	△9,158	△88,003

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△5,433	△87,720
減価償却費	3,320	7,844
賞与引当金の増減額(△は減少)	120	5,627
受注損失引当金の増減額(△は減少)	3,536	-
受取利息及び受取配当金	△79	△105
支払利息	109	541
為替差損益(△は益)	8,422	1,988
新株予約権戻入益	-	△45
固定資産除却損	-	89
売上債権の増減額(△は増加)	50,408	1,093
仕入債務の増減額(△は減少)	39,336	14,417
たな卸資産の増減額(△は増加)	△83,920	△21,944
前払費用の増減額(△は増加)	△10,025	△23,800
未払金の増減額(△は減少)	11,421	4,197
未払消費税等の増減額(△は減少)	△26,529	△569
未払費用の増減額(△は減少)	△74,903	△22,818
前受金の増減額(△は減少)	27,721	54,087
その他	△919	11,905
小計	△57,416	△55,210
利息及び配当金の受取額	79	105
利息の支払額	△109	△601
法人税等の支払額	△50,572	△281
営業活動によるキャッシュ・フロー	△108,018	△55,987
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△27,419	△3,758
無形固定資産の取得による支出	-	△10,000
投資有価証券の取得による支出	△30,232	-
保険積立金の積立による支出	△15	-
保険積立金の解約による収入	-	148
敷金及び保証金の回収による収入	5,373	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,293	△13,610
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	300,000	-
長期借入金の返済による支出	△5,001	△30,006
株式の発行による収入	326,553	1,847
新株予約権の発行による収入	-	1,960
自己株式の取得による支出	-	△345
財務活動によるキャッシュ・フロー	621,552	△26,543
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,422	△1,988
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	452,817	△98,129
現金及び現金同等物の期首残高	423,536	630,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	876,354	532,742

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ソーシャル・ウ ェブメディア事 業	ビジネス・ウ ェブアプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	256,259	257,258	513,518	-	513,518
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	256,259	257,258	513,518	-	513,518
セグメント利益	74,998	19,441	94,439	△92,094	2,345

(注) 1. セグメント利益の調整額△92,094千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ソーシャル・ウ ェブメディア事 業	ビジネス・ウ ェブアプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	240,599	303,438	544,037	-	544,037
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	240,599	303,438	544,037	-	544,037
セグメント利益又は損失 (△)	△59,839	49,357	△10,481	△78,805	△89,287

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△78,805千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。